

国際社会学部

2023 年度後期日程入学試験問題

小論文

正解・配点・解答例（200 点満点）

設問1〔40 点〕

【解答例】

現在の人口統計学上の傾向が変化しなければ、出生率の低下により死亡数が出生数を上回り続けて人口規模が全体として縮小するので、やがて日本という国がこの世から消えるであろう、という予測ができてしまう事情。（99字）

設問2〔40点〕

【解答例】

大半の西洋諸国のメディアは、欧州や北米や東アジア諸国の人口減少ばかりを報道し、高い出生率で人口増加し続けているアフリカのことを扱わず、西洋諸国の市民たちも同じように偏った想像力しか持っていない事情。（99字）

設問3〔40点〕

【解答例】

筆者は、難民への支援はルールに基づく国際秩序にとって重要な義務の一つだと考えているが、日本は国際社会の一員であるにも関わらず、難民認定の実績が極めて小さく、その役割を果たしていない、と考えているから。（100字）

設問4〔80点〕

【解答例】

(C) の文章の筆者は、さらに多くの難民を受け入れることが、日本が果たすべきルールに基づく国際秩序における重要な義務だと考えている。このような考え方に関係する社会的背景として、(A) の文章で指摘されているような、人口統計学的に見て消滅の危機にある、と言われるほどの急激な日本の人口減少がある。また、(B) の文章で観察されているように、人口が減少している日本や欧米諸国において、アフリカなどの地域で人口が増加していることに注意が向けられていない、という事情もある。(C) の筆者は、難民受け入れの規範的な意味を強調するが、人口動態の観点からも、(C) の筆者の考えは、極めて合理的であると言える。そのため私も、難民受け入れのさらなる積極化は、国際規範と人口維持の二つの側面から、取り組むべき非常に重要な政策課題であると考え。ただし、日本が難民受け入れに消極的であった過去の経緯にも、事情がある。日本社会は、まだ異なる文化的背景を持った人々を受け入れていくことに慣れておらず、低い理解や、偏見もあるだろう。難民受け入れを積極化していくためには、社会全体の総意が必要だ。ルールに基づく国際秩序にそって日本が果たしていくべき義務とは何か、なぜ日本はそのような義務を遂行していくべきなのか、そしてどのような政策が人口減少に立ち向かうために必要なのか、様々な機会を通じて社会全体で積極的に議論していくことが重要だ。

(599字)